

TOC(制約条件の理論)によるサプライチェーン革新ワークショップ ー実需に基づく在庫補充方式によるサプライチェーン変革ー

競争激化に伴い収益向上が一層難しくなっている現在、サプライチェーン分野においても企業間・企業内で様々な改善活動に取り組んでおられます。しかし、それらの大半は、多くの時間、労力、資金を投入するにも関わらず、大きな利益改善を実現できていません。日本総合研究所では、製造業のサプライチェーンに対して、TOC(Theory Of Constraints; 制約条件の理論)に基づくサプライチェーン革新を適用し、実需に基づく在庫補充方式にサプライチェーンを変革し、短期間で大幅な改善効果を実現することを支援して参りました。今回、パソコンを使用した仮想サプライチェーンにおけるシミュレーション演習などを通じて、TOC によるサプライチェーン革新の基本コンセプトをご理解いただくと共に、その効用をご体験いただきます。

日 時: 11月8日(月)、9日(火) 両日とも9:30～17:30

場 所: 〒102-0082 東京都千代田区一番町16番 株式会社日本総合研究所 本社 1F 大会議室
(地下鉄半蔵門線 半蔵門駅下車 5番出口より徒歩約5分)

講 師: 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 TOC コンサルタント

参加費: 5,250円(消費税、昼食代、資料代を含みます。)

対 象: SCM 関連管掌役員、経営企画部門、需給統括・調整部門、物流部門、情報システム部門などの方々
(参加者に特別のスキル・知識・資格は必要ありませんが、小説「ザ・ゴール」を事前にお読みいただくことをお勧めします。)

定 員: 30名(同じ方が2日間を通じてご参加ください。)

なお、定員になり次第、申し込み受付を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

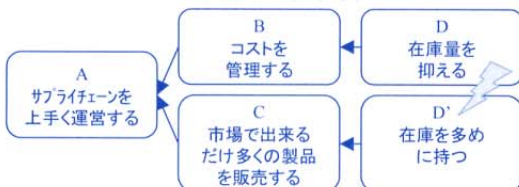
ワークショッププログラムの概要

1日目(11/8)		2日目(11/9)	
9:30～11:00	TOC 概論	9:30～12:00	SCM ワークショップ(解決編)
11:00～12:00	SCM ワークショップ(問題編)	12:00～13:00	昼 食
12:00～13:00	昼 食	13:00～16:00	SCM ワークショップ(解決編)
13:00～17:00	SCM ワークショップ(問題編)	16:00～17:00	ダイスゲーム
17:00～17:30	質疑応答、意見交換	17:00～17:30	質疑応答、意見交換

TOC(Theory of Constraints; 制約条件の理論)とは...

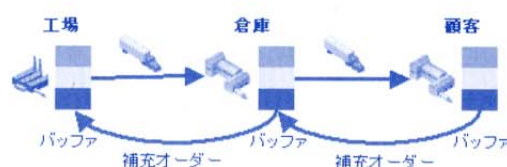
『ザ・ゴール』の著者であるエリヤフ・ゴールドラット博士により提唱された経営改善の哲学・方法論である。企業の活動全体を一つの大きな「システム」(仕組み)として捉え、企業の収益改善を妨げている本質的な制約条件を特定し、解消することにより、短期間で劇的な効果を実現することを可能とする。(日本総合研究所ホームページ <http://www.jri.co.jp/si/trend/04toc.html>)

サプライチェーン上の問題点の根本原因とは...



- ・ サプライチェーンを上手く運営する(A)ためには、コストを管理する(B)必要がある。そのためには、在庫量を抑える(D)必要がある。
- ・ サプライチェーンを上手く運営する(A)ためには、市場で出来るだけ多くの製品を販売する(C)必要がある。そのためには、在庫量を多めに持つ(D')必要がある。
- ・ DとD'の対立がサプライチェーンを上手く運営すること(A)を阻み、サプライチェーン上の問題点の根本原因となっている。

TOCによるサプライチェーン革新



- ・ 鎖の各々の輪(工場、倉庫、顧客)は、補充分のみを鎖の上流の輪にオーダーする。すなわち、需要予測ではなく、実需のみに基づき、在庫補充が行われる。
- ・ 各バッファを常に適切に監視する。すなわち、バッファが適切なレベルに維持されるよう、各社の行動が定義される。
- ・ これにより、サプライチェーンの仕組みがプッシュ型からプル型に転換される。

TOCによる生産革新実績例

大手メーカーのサプライチェーン革新プロジェクト: 効果① サプライチェーン全体の在庫:50%圧縮
効果② 欠品率:70%低減

なお、本ワークショップはゴールドラット博士が設立した AGI 社(Avraham Y. Goldratt Institute)のトレーニングプログラムを使用しております。